

2.将来都市像

富士山を擁する本市は、その豊かな自然環境のもとで繊維産業をはじめ独自の文化・産業を生み出し、営んできました。しかしながら、解決しなければならない課題も多く存在し、市を取り巻く時代環境変化の中で、都市としてのあるべき姿を改めて見直していく必要があります。ここで、本市が目指す将来の都市の姿を次のように掲げます。

「富士の恵みと 幸せを紡いでまちを織る 活力創造都市 富士吉田」

富士は雄大で、また美しい姿で私たち市民を見守っていますが、その恵みを最大限に活かすためには、暮らしの場としての環境、健康ややすらぎなどを一層向上させ、都市としての活力を創り出そうとする人の活動があり、その動きが目に見えることが重要です。

世界文化遺産に登録後、富士の魅力を求めて多くの人を訪れますが、その吸引力を維持していくためには、ここに住む市民が幸せを感じ、生き生きと生活していることが何よりも大切です。住む人の幸せを生み出そうとする動きが訪れる人に伝わり、そこに温かい交流や交歓が生まれます。

かけがえのない富士の恵みと、そこに住む人それぞれが感じる幸せとで糸を紡ぐ、その糸で織られたまちは自ずと豊かで活力あるまちとなります。

本市の将来都市像は、そうした営みが絶えず実感でき、それが市の課題の克服につながり、その結果、私たち市民がここで暮らすことに喜び、生きがい、幸せを感じるにより、活力ある力強い、誇れる都市となることを表現しました。

そして、ここを訪れた人も満足を得て、また来たいと思ってもらえる都市となるよう、市民・行政などあらゆる主体が共に手を携えて、活力ある富士吉田市のまちづくりを進めていきます。